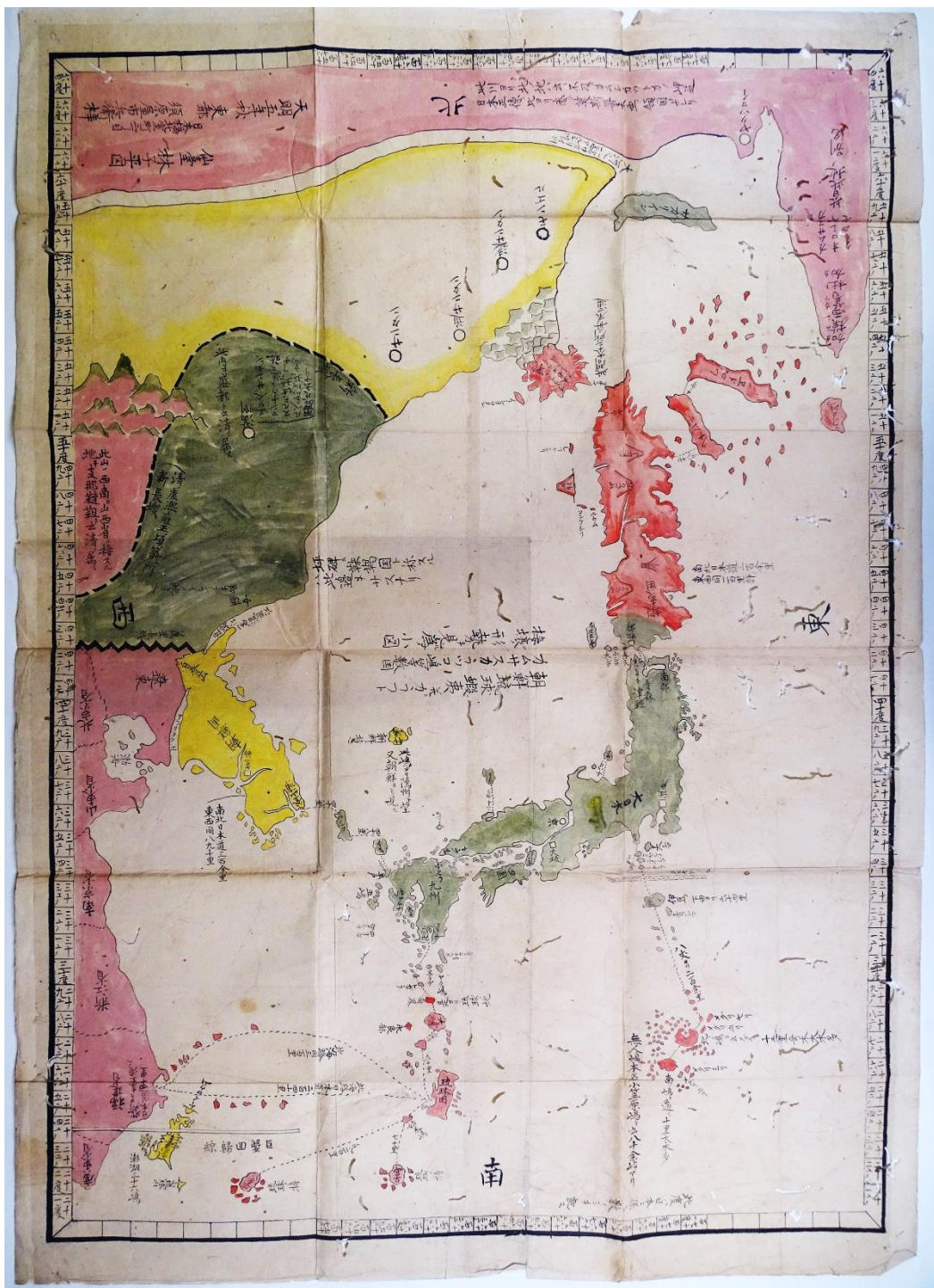




③4 〔日本及周辺全図、林子平図写〕 (須原屋市兵衛板)

天明5年(1785)

原本：縦 51.8cm×横 75.0 cm

海防論を唱えた^{はやし へい}林子平による絵図です。林子平は、寛政の三奇人^{さんきじん}(優れた人)として、高山彦九郎等とともにその偉業が称えられた人物です。

この絵図は、日本に隣接した三国(朝鮮・琉球・蝦夷^{さんこくつうらんずせつ})と付近の島々を解説した『三国通覧図説^{よ ちろてい}』に付された図(三国通覧輿地路程全図)です。

寛政4年(1792)のラクスマン来航など、日本の対外的な危機感が高まるなかで描かれたましたが、松平定信の学問統制(寛政異学の禁)により

発禁処分となりました。



渋川市北橋町箱田 根井幸江家文書
P 9 4 0 9 ・ No. 7 2 3